

駿河台大学に対する改善報告書検討結果

<大学評価実施年度：2021年度>

<改善報告書検討実施年度：2025年度>

駿河台大学から改善報告書の提出を受け、本協会は改善に向けた大学全体の取り組み、2点の改善課題の改善状況について検討を行った。その結果は、以下のとおりである。

<改善に向けた大学全体の取り組み>

内部質保証のための学内組織整備を目的として、2020年4月に旧来の組織及び規程を廃止し、「駿河台大学内部質保証方針」及び「駿河台大学内部質保証推進委員会規程」を制定した。これらに基づき、内部質保証に関する全学的統括組織として「内部質保証推進委員会」を設置し、その下部組織として「自己点検評価分科会」を設け、同分科会のもとに本協会の大学基準に即した「基準部会」を設定するなど、内部質保証システムの確立に向けた体制整備を進めている。

大学評価の結果を受け、「内部質保証推進委員会」が大局的な見地から課題の要点確認や改善の方向性等の協議を行い、「自己点検評価分科会」を通じて課題ごとに該当する「基準部会」に具体的な改善策の検討を指示することで改善に取り組んでいる。

これにより、本協会からの提言やその他の課題に対し、改善・向上を図るための仕組みを整備して、大学全体として計画的に取り組んでいるといえる。今回の改善報告書で改善が十分でなかった点については、内部質保証体制のもとで継続的に対応方策の有効性や適切性を点検・評価し、引き続き改善に取り組むことが期待される。

<是正勧告、改善課題の改善状況>

提言の改善状況から、改善の成果が十分に表れているとはいいがたい。

改善課題については、教育課程の編成・実施方針の策定の問題や学生の受け入れにおける定員管理の問題に関して、今後もさらなる改善に努めることが求められる。

個別の提言への改善に向けた大学の取り組み及びそれに対する評価は、各提言に対する検討所見のとおりである。

1. 是正勧告

なし

2. 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	基準4 教育課程・学習成果

駿河台大学

<p>提言（全文）</p>	<p>教育課程の編成・実施方針において、総合政策研究科法学専攻修士課程、同研究科経済・経営学専攻修士課程、同研究科メディア情報学専攻修士課程及び心理学研究科臨床心理学専攻修士課程、同研究科犯罪心理学専攻修士課程では教育課程の編成及び実施に関する基本的な考えを示しているものの、学部にしてその内容が十分とはいいがたいため改善が求められる。また、総合政策研究科経済・経営学専攻修士課程では授与する学位ごとに教育課程編成・実施方針を策定していないため、改善が求められる。</p>	
<p>検討所見</p>	<p>「内部質保証推進委員会」において改善課題を確認し、カリキュラム改革に関する全学委員会を立ち上げ全学的に取り組みを進め、3ポリシーを見直し、整備した。指摘のあった教育課程の編成・実施方針において、総合政策研究科法学専攻修士課程、同研究科メディア情報学専攻修士課程、心理学研究科臨床心理学専攻修士課程及び同研究科犯罪心理学専攻修士課程では、教育課程の編成・実施に関する基本的な考え方を「教育内容」「教育方法」の項目に分けることで内容を充実させ、大学ホームページで公表していることから改善が認められる。</p> <p>ただし、総合政策研究科経済・経営学専攻修士課程においては、教育課程の編成・実施方針の見直しを行ったものの、授与する学位ごとに教育課程の編成・実施方針の記載はあるものの、分野ごとの書き分けが不十分なため、改善が求められる。</p>	
No.	種 別	内 容
2	基準	基準5 学生の受け入れ
	提言（全文）	<p>収容定員に対する在籍学生数比率について、心理学研究科修士課程で0.23、総合政策研究科修士課程で0.40と低いため、大学院の定員管理を徹底するよう、改善が求められる。</p>
	検討所見	<p>心理学研究科修士課程では「外部相談会」の活用</p>

駿河台大学

	<p>や特別推薦入試制度の新設により志願者増につながるなど一定の効果が見られるものの、収容定員に対する在籍学生数比率 0.37 と低く、また、総合政策研究科修士課程においても、「外部相談会」や説明会の取り組みを継続しているが、収容定員に対する在籍学生数比率は 0.40 と低いため、引き続き改善が求められる。</p>
--	--

<再度報告を求める事項>

なし

<弾力的措置にかかる要件の充足状況>

弾力的措置にかかる要件	前回の評価結果 における提言	改善状況
ア) 基準 2 「内部質保証」に関し、是正勧告及び改善課題のいずれも提言されていない。	無	—
イ) 基準 4 「教育課程・学習成果」に関し、是正勧告が提言されていない。	無	—
ウ) 基準 4 「教育課程・学習成果」の学習成果の測定に関しては、改善課題も付されていない。	無	—

以上